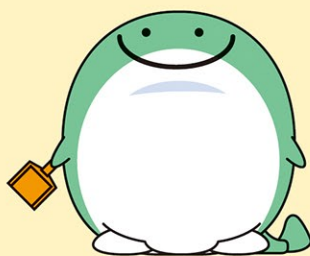




三重県 フードドライブ

実施マニュアル



令和8年3月



目次

1 はじめに	(1)マニュアルの対象者	3
	(2)フードドライブとは	3
	(3)食品ロスとは	3
2 フードドライブの流れ	(1)実施計画	4
	(2)事前準備	5
	①実施日時・実施期間(いつ)	5
	②実施場所(どこで)	5
	③寄附先・連携先(だれと)	6
	④実施体制(どのように)	6
	(3)周知	9
	(4)当日	10
	①レイアウト	10
	②人員・役割	11
	③当日の運営手順	11
	(5)引渡し	11
	①引渡しまでの保管場所	11
	②引渡し方法	11
3 参考資料	県のフードドライブの実施結果	12
	(1)寄附食品の内訳	12
	(2)アンケート結果	12

1

はじめに

三重県では、「三重県循環型社会形成推進計画」に基づき、家庭での食品ロス削減を推進しています。その一環として、令和7年度に「三重県フードドライブ推進事業」として、県がモデル的に環境イベント内や三重県庁内でフードドライブを実施しました。

その結果をふまえて、企業・団体、市町が初めてフードドライブを実施する際などに参考となるよう、イベント等に合わせてフードドライブを実施するにあたっての手順や留意点等について整理したマニュアルを作成しました。

本マニュアルを通じて、県内でフードドライブが展開され、食品ロス削減と食品を必要とされている方への支援につながることを期待します。

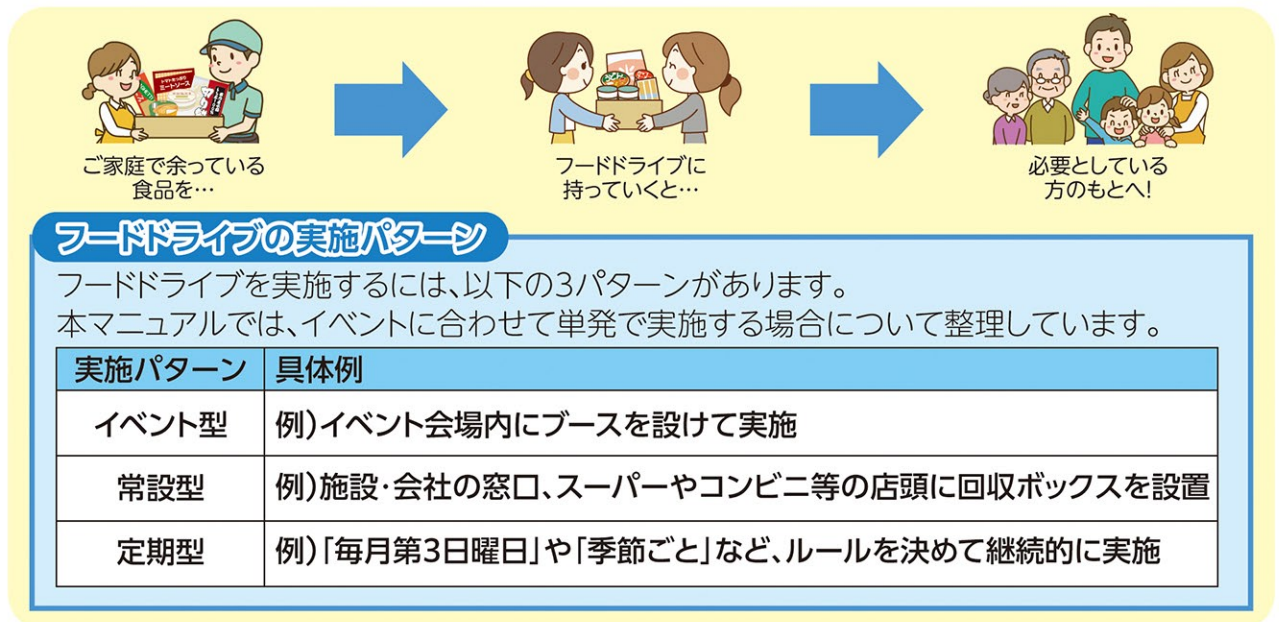
(1) マニュアルの対象者

フードドライブの実施を検討している企業、民間団体、行政

(2) フードドライブとは

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄附する活動のことです。

(出典：環境省「フードドライブ実施の手引き」)



(3) 食品ロスとは

食品ロスとは「本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物」のことです。三重県では年間 6.7 万トン(※)の食品ロスが発生しています。県民 1 人 1 日あたりで計算すると約 104g(※)。県民 1 人が毎日おにぎり 1 個分ほどの食べ物を捨てていることとなります。

(※三重県食品ロス実態調査(令和6年度、三重県)に基づく令和5年度の推計値)

2

フードドライブの流れ

フードドライブを円滑に進めるためには、事前の実施計画が大切です。特に、集まった食品の引渡し日や運搬方法については寄附先とあらかじめ相談したうえで進めるようにしましょう。



(1)実施計画

実施計画の決定

フードドライブを実施するにあたり、まずは実施計画を立てます。主な検討内容は以下のとおりです。

①実施日時・実施期間(いつ)

②実施場所(どこで)

イベント会場・公共施設・地域拠点・商業施設・民間企業など

③寄附先・連携先(だれと)

寄附先・連携先の選定

④実施体制(どのように)

食品の受付条件・資機材準備・引渡し方法など



コラム

県ではフードドライブ開催の約3か月前から計画を進め、1.5か月前にはチラシの配布等の周知を実施しました。



(2) 事前準備

① 実施日時・実施期間(いつ)

実施日時を決定します。多くの人に協力してもらうためには周知期間の確保が重要となります。

② 実施場所(どこで)

フードドライブの実施場所を決定します。以下に寄附・回収拠点のメリットを示します。

ア. イベント会場

イベント会場	多くの来場者が見込まれる
--------	--------------

イ. 公共施設・地域拠点

役所・役場	窓口付近で立ち寄りやすい。
公民館・地域センター	サークルや集会で集まる住民に周知しやすい。
社会福祉協議会	管理体制が万全で、寄附先との連携がスムーズ。

ウ. 商業施設・民間企業

スーパーマーケット・コンビニ・ドラッグストアなど	買い物ついでに寄附できる。
銀行・郵便局	手続きの待ち時間などを有効活用できる。
企業のオフィス	企業のCSR活動と連携して実施できる。

エ. 学校・教育機関

学校・教育機関	授業参観や行事に合わせて、保護者の協力を得やすい。 学生に参加してもらえる。
---------	---

ポイント

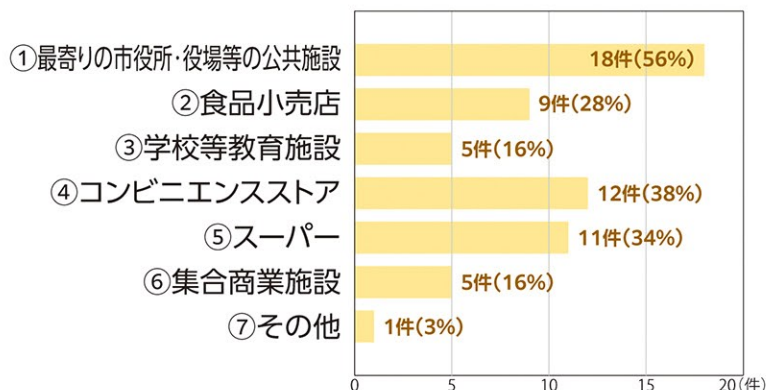
実施場所を決定する際は、以下のポイントを確認しましょう。

視認性	人目に付きやすいか。ポスターやのぼり旗を設置できるか。
搬入のしやすさ	駐車場から近いかなど。
食品保管スペースの確保	回収した食品を一時的に保管できる、食品衛生上問題がなく清潔で直射日光の当たらない場所を確保できるか。

コラム

- 県のフードドライブのアンケート調査の結果、希望する開催場所は「最寄りの市役所等の公共施設(56%)」が最多で、次いで「コンビニ(38%)」「スーパー(34%)」でした。
- 公共施設への高い信頼に加え、身近な商業施設での開催ニーズも分散して見られる結果となりました。

(みえ環境フェア2025で実施)



③ 寄附先・連携先(だれと)

ア. 寄附先の選定

まずは近隣で活動している団体をリストアップし、以下の手順で連絡・調整を行います。

● 主な寄附先

主な寄附先(例)
フードバンク団体
社会福祉協議会
子ども食堂・福祉施設

自分たちが集めようとしている食品の種類や量と、団体のニーズが一致しているかを確認して決定します。

● 受入条件等の確認

以下の項目を事前に確認します。

- ・受入可能な食品の条件(賞味期限の残り期間、常温のみか等)
- ・受入不可の食品(アルコール、自家製、生鮮食品等)
- ・搬入方法(持ち込みが必要か、回収に来てくれるか等)

イ. 注意すべき確認事項

以下の点などを相談しておきましょう。

- **搬入日時の設定**
食品の引渡し日時や場所、方法などを決めておきましょう。多くの団体は少人数で運営されており、忙しい場合もあるため、突然の持ち込みは避けましょう。
- **「受入条件に合わない食品が集まってしまった場合の対応」の対応**
万が一、受入条件に合わない食品が集まってしまった場合の処理(寄附先で処分するか、返却するか)を相談しておきます。
- **寄附先の情報の公開許可**
寄附先の情報を公開してよいか、事前に許可を得ます。
- **書類手続き**
食品寄附についての同意書など、書面を交わすケースもありますので、事前に相談しておきましょう。

④ 実施体制(どのように)

フードドライブの実施にあたり、主に以下の内容を決めておきましょう。

ア. 受付食品の決定

寄附先と調整して、受付する食品の条件を決定します。食品衛生上問題がないようにしましょう。賞味期限までの期間は、寄附先への引渡しや子ども食堂・食品を必要としている方の手に食品が届くまでの日数(1~2か月程度)を考慮して決定します。

寄附いただきたい食品(例)		受付ができない食品(例)	
分類	備考	分類	備考
常温保存できるもの		生鮮食品(野菜・果物等)	農家から寄附いただけのお米、玄米、もち米は除く
新品・未開封で包装が破損していないもの		冷凍、冷蔵管理が必要なもの	
商品説明が日本語表記のもの	外国語表記の上に日本語表記がされているものは可	アルコール類	調理酒、みりんを除く
賞味期限が1か月以上あるもの	(1~2か月程度)	手作り品、お弁当、食べ残しの食品	
		医薬品、サプリメント	
		賞味期限の記載がないもの	



コラム

利用者のニーズが高く寄附先に喜ばれる食品は・・・
お米・乾麺(パスタ・うどん等)などの主食、レトルト食品・お菓子です。
インスタント食品・お菓子は子どもに人気です。



イ. 資機材の準備

実施にあたり、必要な資機材を準備しましょう。

県が環境イベントで使用した資機材を参考として以下に掲載します。

貸出対象に○がついているものは貸出を行っています。詳しくは県ホームページをご確認ください。

● 県が環境イベントで使用した資機材例

区分	備品	規格	数量	単位	貸出対象
ブース	のぼり旗		2	式	○
	のぼり用ポールスタンド		2	式	○
	のぼり用ポール		2	本	○
	テーブル		5	本	
	パイプ椅子		6	脚	
	パーテーション		6	枚	
	説明パネル看板		1	枚	○
	説明パネル用イーゼル		1	式	○
	テーブル	アンケート記載用	1	台	
受付	食品寄附申込書(P8.参照)	A5	500	枚	
	筆記用具	ボールペン・マーカー等	3~5	本	
	アンケート用紙		100	枚	
	ノベルティー(アンケート回答者向け)		1	式	
記録	はかり(g)[0.1g~5kg]	電池式	1	台	○
	はかり(kg)[10g~30kg]	電池式	1	台	○
	受付食品分類表(P8.参照)		1	枚	
	ノートPC	(寄附食品リスト用)	1	台	
分類	コンテナ	50L 半透明 蓋付き	5	個	○
	段ボール(20枚)	120サイズ 底面A3 5mm厚	1	式	
	分類表示		3	式	



のぼり旗・説明パネル(A1)



はかり(kg)
重いもの用[10g~30kg]



はかり(g)
軽いもの用[0.1g~5kg]



コンテナ

詳細は県HPへ

三重県 フードドライブ



〈問合せ先〉三重県環境生活部環境共生局資源循環推進課リサイクル推進班 TEL:059-224-2385

(3) 周知

フードドライブを多くの人に協力してもらうためには、事前の周知が重要です。詳細が決まったら、SNSやホームページ、チラシなどを利用して周知しましょう。

チラシに記載する主な項目

- ・日時
- ・場所
- ・食品の受付条件

《チラシ例(県のフードドライブで作成したチラシ)》



チラシ表(例)

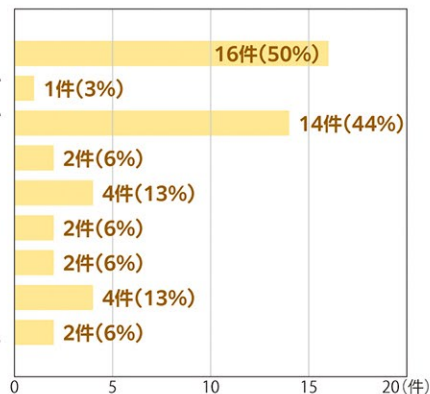


チラシ裏(例)

コラム

県のフードドライブのアンケート調査では、認知経路で最も多かったのは「広報チラシ」でした。チラシは、県庁や市役所・町役場・公共施設・学校・民間施設などに配布しました。

- ①フードドライブ広報チラシ 16件(50%)
- ②三重県ホームページ 1件(3%)
- ③みえ環境フェアのチラシもしくはホームページ 14件(44%)
- ④フリーペーパー 2件(6%)
- ⑤ラジオ 4件(13%)
- ⑥ごみ分別アプリ 2件(6%)
- ⑦SNS(LINE, Facebook等) 2件(6%)
- ⑧□コミ 4件(13%)
- ⑨その他 2件(6%)



(4)当日

①レイアウト

フードドライブを円滑に運営するためには、会場の広さや動線に合わせたレイアウトにしましょう。イベント型の場合は、以下の配置の考え方を参考にしてください。

受付エリア：立ち寄りやすさを優先する

・来場者が分かりやすい場所(入口付近や目立つ場所)に受付エリアを設置しましょう。

記録エリア：正確な情報管理とスムーズな連携ができるようにする

・受付のすぐ後ろ、または隣など、受付スタッフとすぐに連携が取れる位置に配置します。
・パソコンでの入力の場合、電源の確保などに注意します。

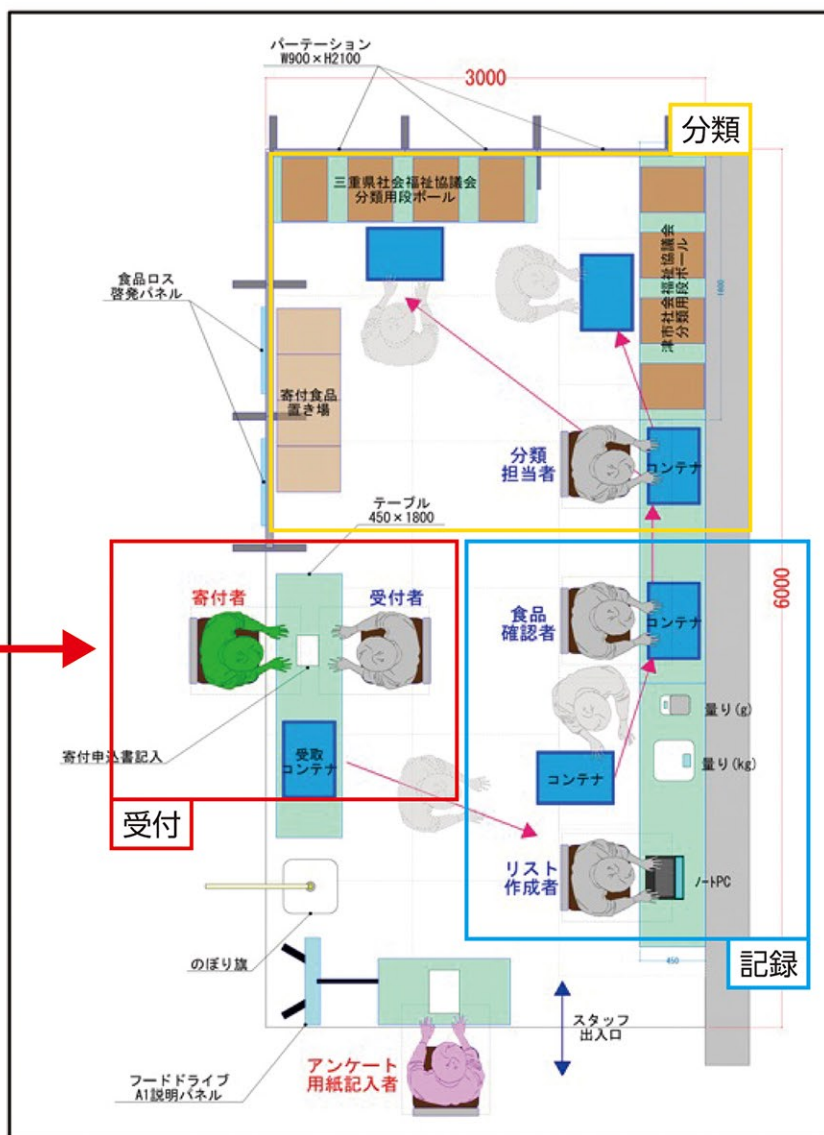
分類エリア：衛生・安全が管理できるようにする

・受付から少し離れた奥側や、パーテーションなどで区切られたスペースに配置することで、関係者以外が食品に接触することを防ぐことができます。



コラム

レイアウト(例)



県の環境イベントでのレイアウトと仕分け方法は以下のとおりです。三重県の場合は2団体の寄附先に対して賞味期限(1か月、3か月、6か月以上等)で分類をしました。



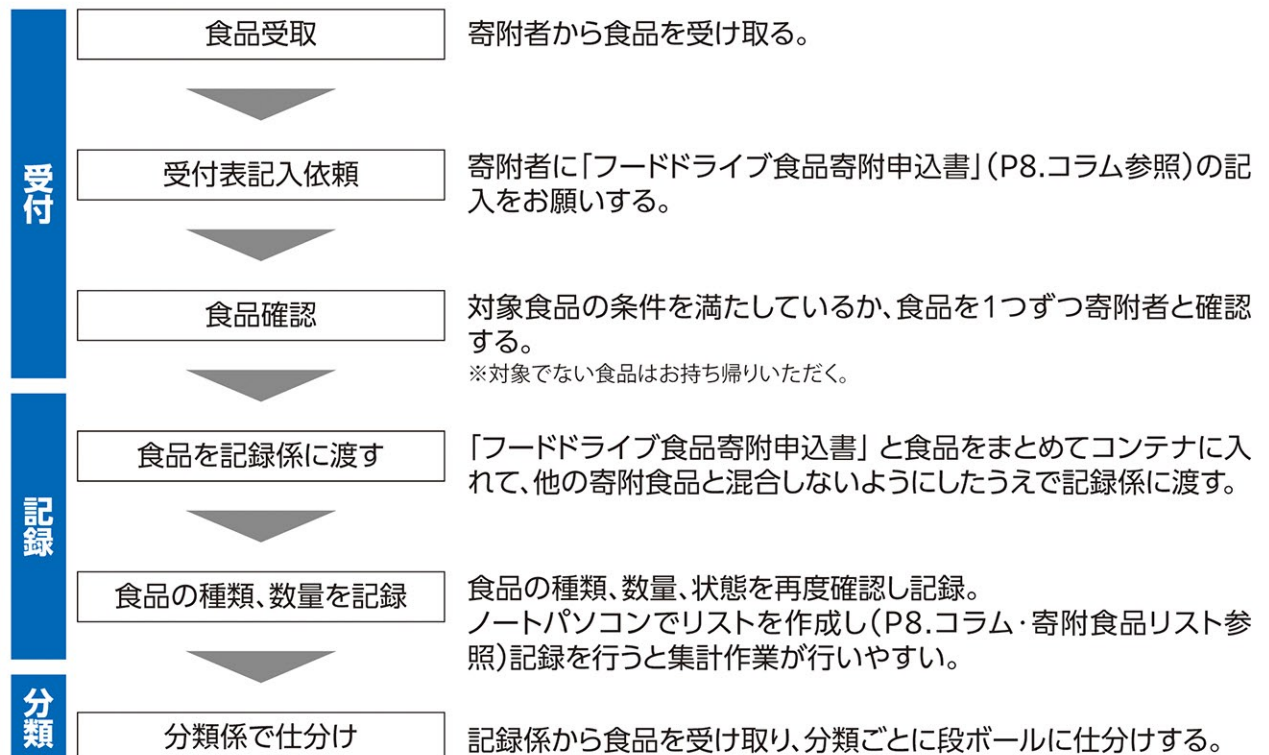
以下の県の環境イベントでの実施例を参考に当日の運営を行います。

②人員・役割

合計4名程度を目安に人員・役割を決定します。
必要な役割は「受付」「記録」「分類」の3つですが、4名いれば、混雑時に補助できるのでスムーズな運営が行えます。

役割	人数	内容
受付	1~2名	食品の受付・確認・食品寄附申込書記載のお願い
記録	1名	食品の品目、賞味期限、数量、内容量、食品の状態の記録
分類	1名	食品の仕分け・整理

③当日の運営手順



(5)引渡し

寄附先と事前に調整したとおりに食品の引渡しを行います。

①引渡しまでの保管場所

常温保存できるものであっても、環境の変化によって食品の状態が悪くなってしまう可能性もあるため、長期保管を避けできるだけ早めに引渡しを行うよう寄附先との調整を行いましょ。

- (例) ・直射日光が当たらない場所 ・雨等で濡れない場所 ・高温多湿にならない場所
・施設ができる場所 ・動物や昆虫が入らない場所

②引渡し方法

食品はコンテナや段ボール箱に入れて引渡しようにしましょう。(コンテナの場合は、後日回収する必要が生じるため、段ボールなどが便利でしょう。)なお、寄附先によっては、保管場所が確保できない場合もあるため、事前に引渡し方法などを確認しておきましょう。

3

参考資料

県のフードドライブ実施結果

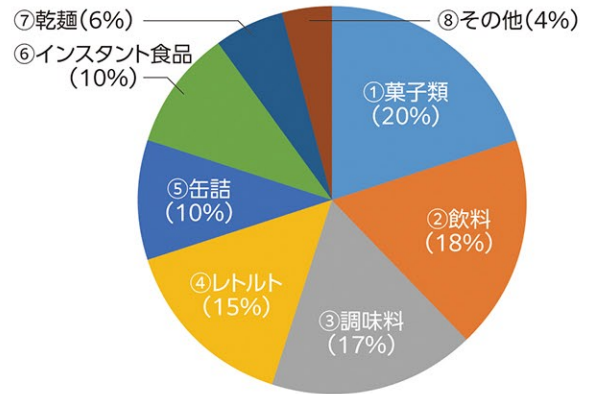
県では令和7年度にみえ環境フェア2025及び県庁でフードドライブを実施しました。

〈イベント等で実施〉

- ①みえ環境フェア2025 [令和7年12月の1日間]
来場者:約5,000人 寄附食品:443点、200.6kg
- ②三重県庁フードドライブ [令和7年12月の5日間]
寄附食品:289点、46.7kg

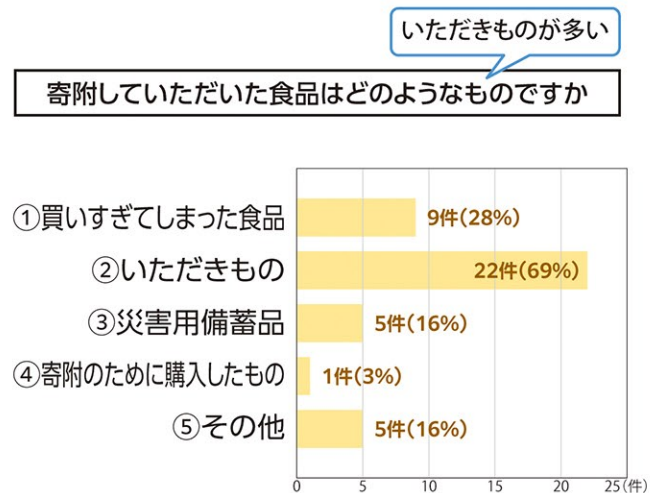
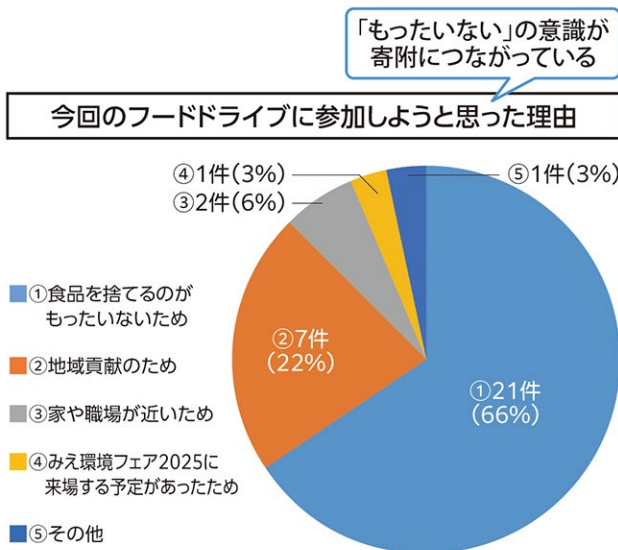
(1) 寄附食品の内訳

フードドライブの寄附食品の内訳はグラフのとおりです(①及び②の合計)。



(2) アンケート結果

寄附者を対象にアンケートを実施しました。
41名の寄附者に対して32名の方に回答をいただきました(①及び②の合計)。



【問い合わせ先】

三重県 環境生活部 環境共生局 資源循環推進課
TEL:059-224-2385

三重県 フードドライブ

